

令和 8 年市政報告会内容報告（各地区公民館での意見交換内容の概要）

地区名	日時	内容
隅田	7 月 30 日(木) 19 時～	○人口戦略会議における消滅可能自治体の 1 つに指定されている現状に対して、どのような対策をしているか 【総合政策部長】 結論としてはできるだけ転入者を増やし、転出者を減らす取り組みを地道にも続けていくしかないと思っています。具体的には、本市における人口減の分析として、20～30 代までの若年の転出が多い傾向にあります。そのため、若年層に地元で働いてもらい定着していただく取り組みとして働き口の拡大としての企業誘致の他、地元企業を知ってもらうための冊子の作成・配付やデジタルでの情報発信などの取り組みを行ない、市内での雇用創出とシビックプライドの醸成に取り組んでいます。また、転入者への取り組みとして、子育て世代へのアプローチとして、18 歳までの子どもの医療費無償化や、こども園の整備など子育てしやすい体制をとり、市外へも情報発信しています。 【市長】 正直言って、ピンポイントな特効薬となる取組みはないと思っています。全国的な人口減の問題や、本市は子どもの貧困率が全国平均よりも高いこともある。その中で、できるだけ、10～20 代の子が橋本市から出ていかないうような取組を続けていくことが大事と思っています。現在は、シティープロモーションをし、橋本市の良いところを全国に発信して、交流人口を増やそうという取組みをしています。 ○橋本市立文教施設利用に関する条例の使用料のあり方などについての見直しを検討してもらえないか。社会教育に通じた活動の中で、持続可能な活動をしていくため参加費をもらっていますが、高齢化も含めた幅広い参加や交流人口を増やすための活動として、民間の使用料の見直しについて検討してもらえないか 【教育部長】 使用料は施設の維持費としていただいているところですが、担当部署とも共有し、検討させていただきます。 ○隅田小学校と恋野小学校の再編統合について、場所は隅田小学校なのに新しい学校にすると混乱するのではないかな。また、今後再編を繰り返す度に新しい学校になり校名が変わっていくと、地域に根ざす学校名が無くなってしまうのではないかな 【教育部長】 市の学校再編計画については、規模の小さな学校を大きな学校へ吸収する統廃合という形ではなく、2 つの学校が合わせもって新しい学校

		をつくる学校再編という形をとっているため、新しい学校名でスタートさせるという考えのもと計画を進めています。 ただ、無理やり進めることは出来ないと思っていますので、意見を聞きながら建設的に進めていきたいと考えています。
--	--	--